

# 甲州市東雲保全会

農業施設の整備による地域農業の活性化

## 甲州市東雲地区はこんなところ

### • 地勢

甲府盆地の東縁に位置し、桃畑やぶどう畑が広がる果樹地帯であり、桃やぶどう等の生産が盛んである。また、日本一のブドウの産地であり観光地としての側面を持ち合わせる地域である。



### • 住民

1,049世帯  
男性1,252名  
女性1,318名



### • 特産物

桃・ブドウ  
ワイナリーも点在

# 活動組織図

## 東雲保全会

- 小佐手保全会
- 休息保全会
- 山保全会
- 綿塚保全会

## 保全会の概要

活動地域	甲州市東雲地区	
対象農地面積	108ha	
対象施設	水路 10.3km 農道 17.1km	
交付金額	<b>336.5万円</b> 農地維持支払 108万円 資源向上支払(共同活動) 48.6万円 資源向上支払(施設の長寿命化) 179.9万円	
活動開始年度	平成19年度	
構成員	農業者・自治会・区民	
主な活動内容	農地維持活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務・組織運営の研修</li> <li>• 農地・水路施設の点検</li> <li>• 農道・水路の除草作業</li> <li>• 水路・側溝の泥上げ</li> <li>• 異常気象後の施設の点検など</li> </ul>
	資源向上 (共同活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 農道・水路の補修</li> <li>• 景観形成・生活環境の保全</li> <li>• 各種啓発・普及活動など</li> </ul>



# 活動状況①



長年の放置により  
雑草が密集



地区保全会員50名に  
よるクリーン作戦！

モリノリーニ性態



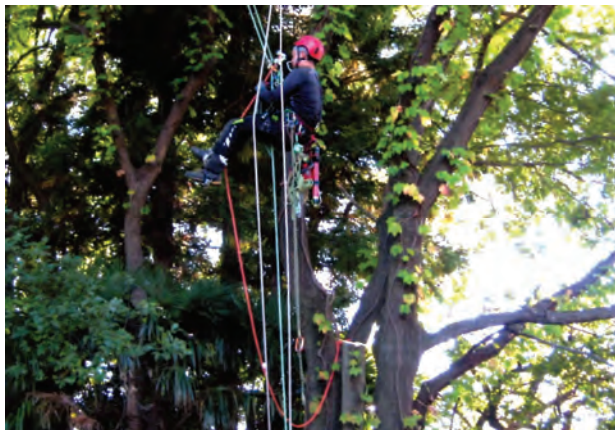


作業終了!!



## 活動状況②

遊水池内に茂った  
木の伐採作業



## 伐採の進行状況



遊水池を覆った木々が整理され明るくなりました。  
池内に落ちる葉も少なくなり詰まりも軽減されます。





## 活動状況③

同じく遊水池の「泥上げ」作業  
高低差があるので人海戦術！



作業終了!!



## 活動状況④



作業終了  
!!







道行く方も振り返る  
素敵な「花壇」になりました。

## 活動状況⑤



「農道」の直営施工を行い補修技術の伝承



作業終了

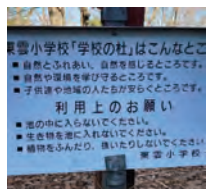
!!



ひび割れていた「農道」もこの通り



地域の方と一緒に 農家の仕事を学習



「学校ビオトープの作成」

畑地かんがい水の利用

## 総合的学習 せいかつ科(1・2年生)



### 他事業への展開

農業農村整備事業における「行政」と「地域」を繋ぐ





# 「世界農業遺産」認定

令和4年7月18日 峡東地域  
(甲州市、笛吹市、山梨市)の  
「峡東地域の扇状地に適応した  
果樹農業システム」が  
「世界農業遺産」の認定を受け  
ました。



## 今後の活動について

- 幅広い協力体制
- 農村環境の保全
- 次世代に繋げる資産





### 宮上地区の紹介

- 北杜市大泉町谷戸にある地区です。八ヶ岳南麓に位置し、標高は800～900mで気候は夏は涼しく、冬は八ヶ岳おろしの冷たい風がふきます。
- お米とそばの生産が盛んです。





## 宮上活動組織について

- 取組面積は20.6haで、構成員は 48人です
- 取組は農地維持活動、共同活動(資源向上)、長寿命化(資源向上)を行っています。



## ため池の管理について

- ため池の管理をおこなっています。活動組織の構成員が重機を運転し、泥上げをサポートしています。
- 上げた泥は地区の人が田んぼの土壌改良などに再利用しています。





## 電柵の管理について

- 鹿・イノシシの被害にあわないように、宮上地区の農地一帯を電柵で囲っています。これにより、イノシシの被害は皆無となり、設置効果が出ています。
- 電柵の効果が発揮できるよう、草刈り作業や補修作業を行っています。



## 花植え活動

- 遊休農地を活用し、花植えを実施しています。
- 地域の景観に華を添えられるように取り組んでいます。





### 耕作放棄地発生防止のための取り組み

- 地域の取り組みとして、高齢化などで耕作が出来なくなった農地を借りて、お米やそばを作っています。
- そばは地元のいずみそば組合が収穫し、製粉して製麺所や蕎麦屋に販売しています。



### どんど焼きなどの伝統行事

- 宮上地区ではどんど焼きや餅つきなどの伝統的な行事を通して、3世代の交流を大切にしています。



## これからを見据えて

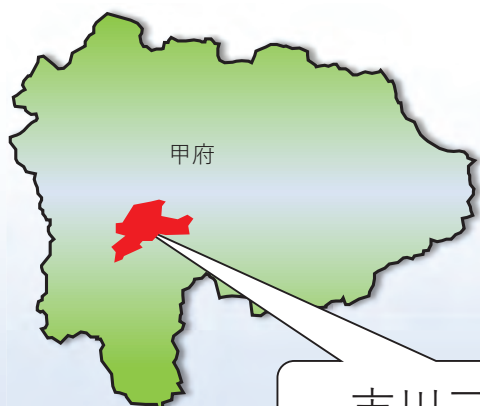
- 高齢化に伴う後継者不足が悩ましい問題です。
- 農地法面の草刈り作業などの省力化が必要だと実感しています。
- 農道・水路の老朽化に伴う工事必要箇所の増加で、工事をもっと行う必要があります。





# 多面的機能活動組織報告

## 市川三郷町 大木地区 農業で繋ぐふるさと！



市川三郷町

市川三郷町  
大木地区環境保全会

## 市川三郷町大木地区環境保全会



市川三郷町の自然豊かな中山間地域  
見晴らしのよい、きれいな風景が広がる集落



地区人口 68人  
世帯数 35世帯  
(令和4年12月1日現在)

【大木地区】

# 市川三郷町大木地域

どんど焼き



打ち上げ花火



## 大木地区環境保全会

●設立  
平成20年4月

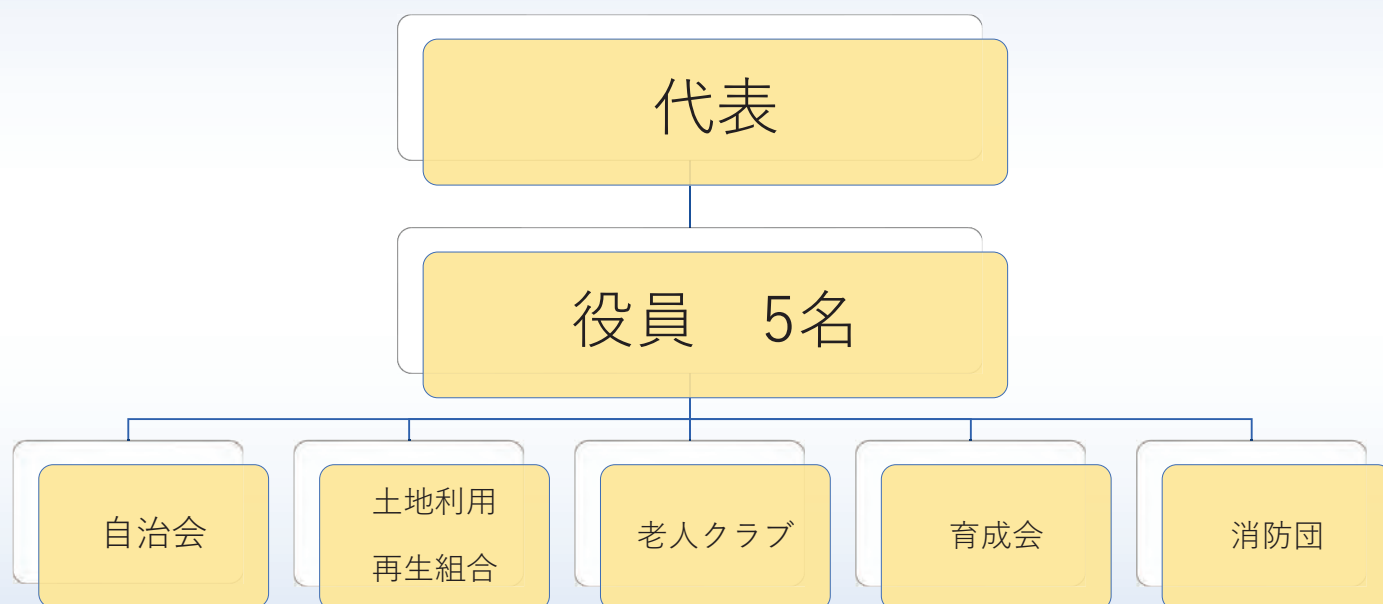
●取組面積  
田 : 50a  
畑 : 1,150a  
合計 : 1,200a

●活動内容  
農地維持活動  
資源向上活動（共同活動）





## 組織図



## 活動施策

- ①きめ細やかな保全管理・景観形成
- ②荒廃農地の有効活用
- ③ほ場整備による地域農業の維持発展

## ①きめ細やかな保全管理・景観形成



【荒廃農地の草刈り作業】



【直営施工による農道補修】



【水路清掃・泥上げ】

## ①きめ細やかな保全管理・景観形成



【花壇の植栽】



## ①きめ細やかな保全管理・景観形成



【地元の子供たちとゴミ拾い】

## ②荒廃農地の有効活用



【一瀬桑の親株】



【企業への貸付（(株)桑郷）】

### ③ほ場整備による地域農業の維持発展

【ほ場整備事業の実施】



【新規就農者による  
地域農業の活性化】

## まとめ

### 多面的機能支払交付金による活動の成果

- 荒廃農地の解消・活用により、私たちの住んでいる地域の将来を改めて見つめ直すきっかけとなっている
- 地域の活性化を図る上で地域農業の新たな担い手となる農家や企業への農地の貸し付けに協力し、経営安定や優良農地の維持と一緒に取り組んでいる



# ご清聴ありがとうございました





# 女性がつなぐ農業と地域コミュニティ

令和4年12月20日(火)

栃木県宇都宮市  
申内環境保全会  
事務局長 相良 律子

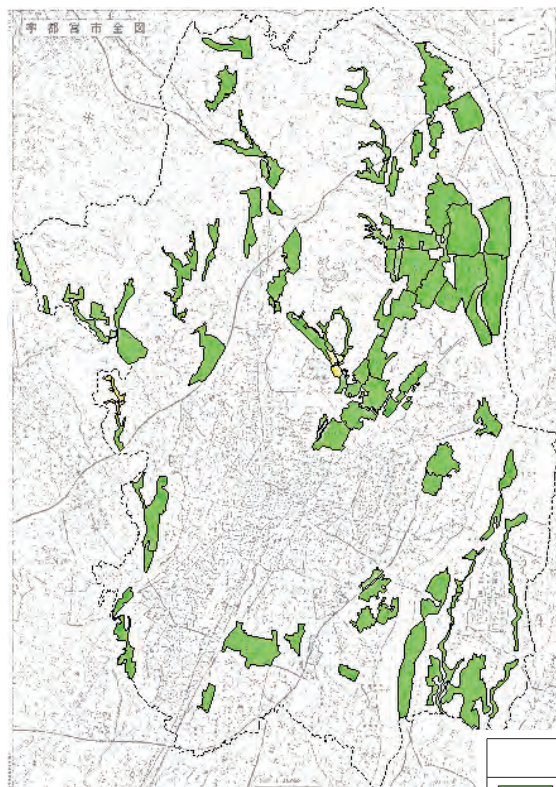


## 1-1. 宇都宮市における多面的機能支払交付金の取組状況

【認定農用地面積・対象組織数の推移】

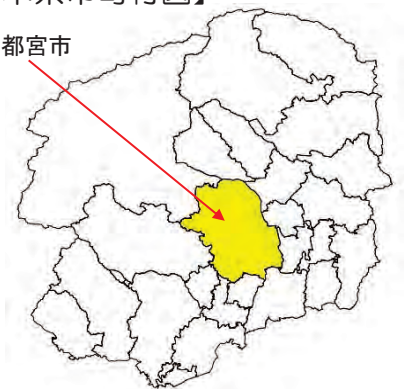
年度	認定農用地 面積(ha)	対象 組織数	カバー率
28	4,207	68	41.9%
29	4,149	68	41.3%
30	4,149	66	41.3%
元	3,938	63	39.3%
2	3,814	61	38.0%
3	3,905	62	38.8%
4	3,885	62	-

【宇都宮市の多面的機能支払の取組状況】



【栃木県市町村図】

宇都宮市



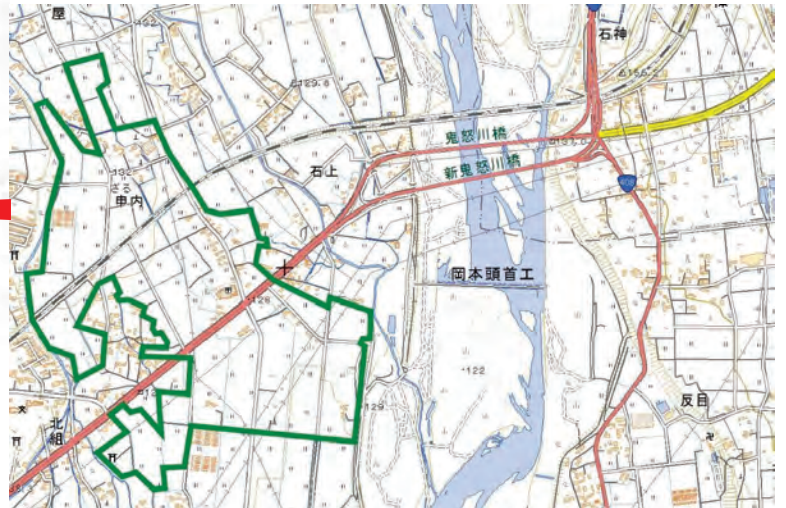
凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:green; border:1px solid black;"></span>	既存活動組織
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:orange; border:1px solid black;"></span>	新規活動組織
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border:1px solid black;"></span>	市町村界



## 1-2. 地域の概要

宇都宮市の東部に位置し、ほ場整備後の恵まれた条件、環境の中で営農を行っているが、他産業への兼業化や非農業者の混住化が進んでいる。

平成10年度にほ場整備が完了したが、近年農業用施設の老朽化や水路の土砂堆積が目立ち始めている。

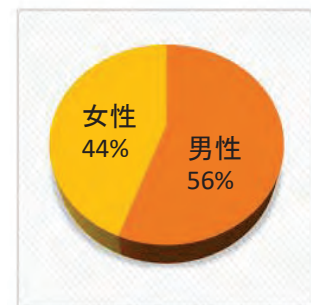


2

## 2. 活動組織の概要

### 【組織の概要】

- ・ 取組面積: 73.8ha (田73.3ha、畑0.5ha)
- ・ 資源量: 開水路 17.2km 農道 7.5km
- ・ 実施内容: 農地維持支払、資源向上支払(共同活動)
- ・ 交付金額: 約4百万円
- ・ 構成員: 69名(農業者:30名、非農業者:39名)
- ・ 構成役員: 9名(男性5名、**女性4名**)



### 【組織立ち上げの経緯】

・ 当該地域は、平成20年度～24年度まで、古き良き農村の自然環境を守っていくことを目的に、『申内みどりの古里保存会』を立ち上げ、農業用施設の補修や植栽などの共同活動を実施していた。

・ 農業用施設の補修が十分に実施できたこと、また、次に引き継ぐ役員の後継者がいなかったこともあり、**活動を一旦休止**した。

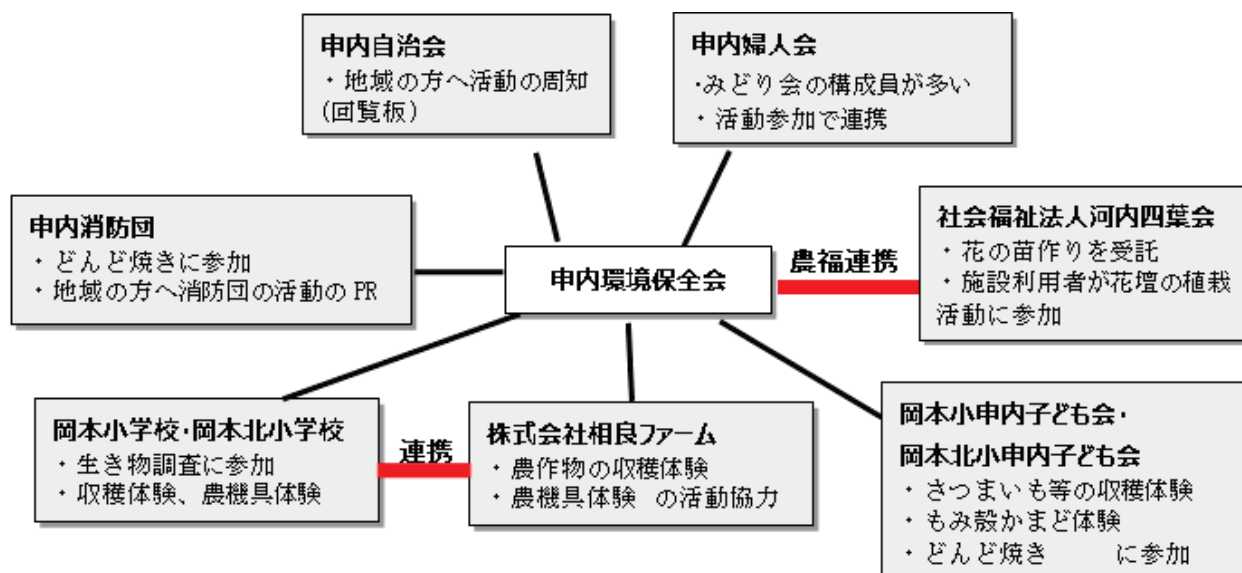
・ 農家、農村地域を守っていくには、やはり共同活動を再開する必要があるだろうという機運が女性組織を中心として高まり、平成27年度に『申内環境保全会』を設立し、**活動を再開**し、現在では**女性役員を中心に会を運営**している。

3

## 2. 活動組織の概要

### 【主な活動】

- ・ 地域の景観形成のための植栽活動（彼岸花ロード、花壇）
- ・ 小学校、子ども会との連携（生き物調査、校外授業、農業体験）
- ・ 社会福祉法人との農福連携
- ・ 地域住民との交流



4

## 3-1. 取組状況（農地維持支払）

### ○地域資源の基礎的な保全活動

非農家を含め地域全体で水路の泥上げや草刈り、水利施設の掃除・点検に取り組んでいる。草刈りについてはハンマーモアを活用し効率化を図っている。

組織の活動方針や地域資源の保全管理の方法等について住民を交えて話し合いを実施している。



草刈り風景



水門の清掃・点検



用水路の堀さらい



地域住民を交えた話し合い

5



## 3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））農村環境保全活動

### ○農村環境保全活動①【生物の生息状況の把握】

小学生を対象に、田んぼまわりの生き物調査を実施し、生物の生息状況の把握を行っている。



生き物調査風景



### ○農村環境保全活動①【植栽等の景観形成活動】

散歩コースとなっている農道への花壇の設置、近隣の組織と連携して彼岸花ロードを保全する活動を実施している。



農道沿いの花壇



彼岸花ロード

6

## 3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））啓発・普及活動

### ○啓発・普及活動【地域の小学校及び子ども会と連携した取組】

小学生を対象に、さつまいも、じゃがいも、アスパラガスの収穫体験や、玉ねぎの定植、もみ殻を使ってご飯を炊くかまど体験を実施するほか、トラクター等の農機具に試乗する体験を行うなど、農村文化に触れてもらう機会を提供している。



子供会と連携した農業体験風景



玉ねぎの定植



小学校と連携した収穫体験



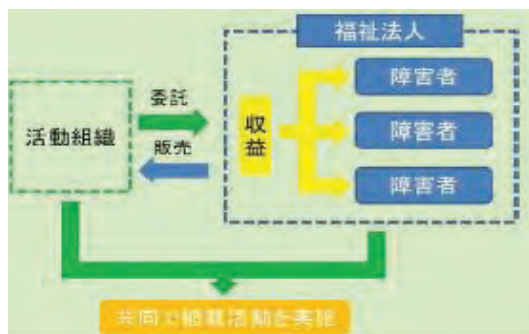
トラクター試乗体験

7

### 3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））増進活動

#### ○多面的機能にかかる増進活動②【農福連携の取り組み】

組織が社会福祉法人へ花の苗作りを委託し、法人と協力して、施設の利用者等と一緒に植栽活動を行っている。



農福連携の流れ



福祉法人と連携した植栽活動



福祉法人と連携した植栽活動参加者



花壇の様子

### 3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））増進活動

#### ○多面的機能にかかる増進活動②【農村文化の伝承】

平成30年から、30年ぶりにどんど焼きを復活させ、開催している。

子どもたちと一緒に繭玉を作り、五穀豊穡を願うお焚き上げを行うことで、農村文化に親しむ機会を創出し、農村と都市との交流に積極的に取り組んでいる。

申内自治会は435の世帯があり、新しい住宅の開発も進んでいるため、地域の関係性の強化や居場所づくりの一つとして重要な役割を果たしている。



子供達との繭玉づくり



どんど焼き



### 3-3. 取組状況（資源向上支払（長寿命化））

#### ○長寿命化に係る水路の補修

施設の点検を実施、計画的に施設の更新・補修を地域住民の直営施工により実施している。



水路の嵩上げ

10

### 4. 活動の成果と今後の目標

#### ○活動の成果

- ・令和2年度 多面的機能発揮促進事業 関東農政局長賞 最優秀賞を受賞しました。



11

## 4. 活動の成果と今後の目標

### ○活動の成果

- ・ 参加者の増加  
⇒ 活動への参加が強制されないこと、女性役員が多く参加しやすい雰囲気であることから、共同活動への参加者が増加した。
- ・ 取組の増加  
⇒ 女性役員の発案により、小学校や子ども会との交流が活性化されたほか、新たに農福連携の取組を始めるなど、地域コミュニティの強化等に貢献した。
- ・ 組織運営の円滑化  
⇒ 収穫体験後の食事会は女性が中心に取り組み、法面の草刈りや水門のごみ浚いなどの力仕事は男性が中心に作業するなど、それぞれ得意分野を担当することで、お互いの良い面を引き出し良好な関係を築いている。

	H 2 7	R 1
彼岸花ロードの草刈り	1 9 人	2 5 人
収穫体験活動	4 3 人	6 5 人

参加者の増加



一般社団法人農村漁村文化協会  
作成のDVDに事例紹介される

12

## 4. 活動の成果と今後の目標

### ○今後の目標

- ・ 本交付金活動を継続することにより、地域の農業・農村の環境を維持したい。
- ・ 地域の子どもたちに色々な農村文化を体験する機会を提供することで、農業の大切さや地域の良さを理解してもらい、今の取組を次世代に引き継ぎたい。



13